



ネットワーク整備の推進(ミッシングリンクの解消)

ミッシングリンクとは

ミッシングリンクとは途中で切れている未整備区間のことを指し、高速道路は関西経済を支えるインフラとして、物流や観光に大きな影響を与えるため、早期の解消が求められています。道路ネットワークの整備が進むことで複数の経路を選択できるようになり、都心部の渋滞緩和や、移動時間の短縮などで交通の円滑化が図られ、より快適な走行が可能となります。



VOICE

関西の発展に貢献し、地域から信頼される 阪神高速を目指して

2025年4月から大阪・関西万博が開催される予定です。建設中の淀川左岸線(2期)区間は、万博会場までのシャトルバスのアクセスルートとして利用が予定されています。現在、関係自治体と協力して取り組みを進めており、引き続き万博交通の輸送円滑化などに貢献してまいります。また、1日も早く高速道路ネットワークを整備し、ミッシングリンクを解消することで、高速道路をご利用のお客さまや沿線にお住まいの方々にとって安全・安心・快適な阪神高速道路を提供できるよう取り組んでまいります。



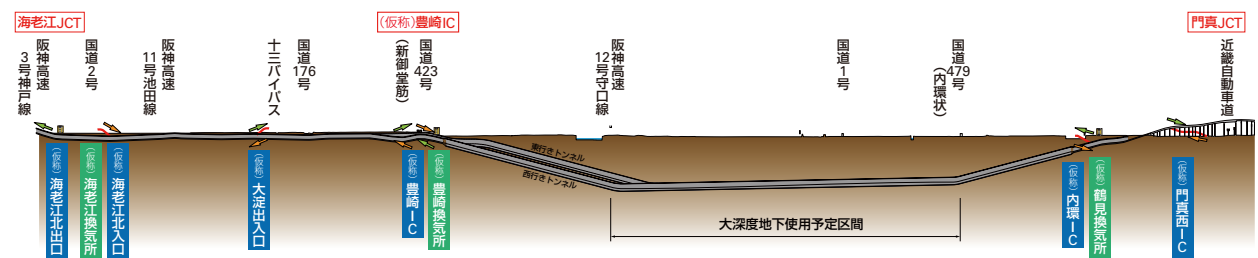
阪神高速道路株式会社
建設事業本部大阪建設部
企画課長
谷 和博

「大阪都市再生環状道路」の完成を目指して

「大阪都市再生環状道路」の北側の一部を構成する道路として、国や大阪市、西日本高速道路(株)との共同事業で進めています。都市部での事業であること、大深度地下シールドトンネル区間も含まれることなど、高い技術力を要する事業に挑んでいます。



縦断面



淀川左岸線(2期)

- ◆ 営業中の海老江ジャンクションから、豊崎(国道423号(新御堂筋))までの4.4kmを結ぶ路線です。
- ◆ 本路線の大部分は開削トンネル構造で、河川堤防との一体構造となる計画となっています。共同事業者である大阪市と事業を進めています。
- ◆ 大阪・関西万博時のアクセルートとしての暫定活用を目指しており、大阪市より阪神高速が受託した箇所については、開削トンネルの函体工、橋梁の桁架設工、床版工および換気所の構築などを実施しています。



工事進捗状況(海老江地区)

淀川左岸線延伸部

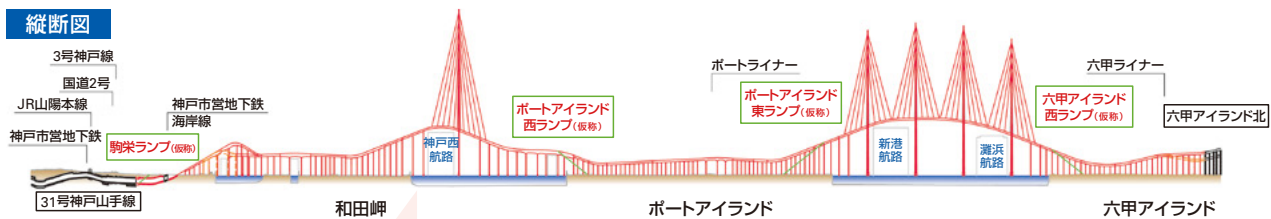
- ◆ 近畿自動車道の門真ジャンクションから、淀川左岸線(2期)の豊崎までの8.7kmを結ぶ路線です。
- ◆ 本路線の大部分は開削トンネル工法およびシールドトンネル工法によるトンネル構造です。淀川左岸線(2期)と同様に、一部区間で河川堤防と一体構造となる計画です。共同事業者である国、西日本高速道路(株)と事業を進めています。
- ◆ 現在、阪神高速において、トンネルおよびシールド立坑などの設計検討を実施しています。また、本工事着手に向けて地中障害物撤去工事などを実施しています。



地中障害物撤去工(豊崎地区)

「大阪湾岸道路西伸部」では新ランドマークとなる海上部長大橋の建設

神戸の新たなランドマークになることが期待される2つの「海上部長大橋」では、さまざまな技術的課題などへ対応していくため、有識者委員会での審議・助言も踏まえ、鋭意検討を進めています。「災害時の道路機能確保」「景観性」および「維持管理性」などの観点を踏まえ、2019年12月に橋梁形式が選定され、その後、基礎および上部構造に対する耐震、耐風、景観などの観点から検討を進め、新港・灘浜航路部については、2023年8月に海上部長大橋の基本構造を決定し、工事に向け設計を進めています。



大阪湾岸道路西伸部

- ◆ 大阪湾岸道路の一部を構成し、営業中の5号湾岸線の六甲アイランド端末部から、ポートアイランド、和田岬を経由し、長田区駒栄地区で営業中の31号神戸山手線へ接続する14.5kmの路線です。
- ◆ 本路線は、六甲アイランドからポートアイランド間、ポートアイランドから和田岬間で、国際航路を跨ぐ形で海上部長大橋を架設する計画です。共同事業者である国と事業を進めています。
- ◆ 現在、阪神高速では神戸山手線との接続部付近において開削トンネル工事を、また、六甲アイランド地区では橋梁本体の基礎工などの工事を実施しています。



基礎工
(六甲アイランド地区)

「名神湾岸連絡線」の一日も早い完成を目指して

名神湾岸連絡線は3号神戸線・5号湾岸線と一体となって機能し、大阪湾ベイエリアの高速道路ネットワークを形成する路線です。2024年度から阪神高速も事業に参画し、建設・管理に係る技術・ノウハウなどを活用して、整備を推進していきます。



名神湾岸連絡線

- ◆ 3号神戸線・名神高速道路と5号湾岸線を接続する2.7kmの路線です。
- ◆ 本路線の大部分は高架構造です。共同事業者である国・西日本高速道路(株)と事業を進めていきます。

※ R6.3.12 社会資本整備審議会 道路分科会 第24回事業評価部会資料より抜粋加工